

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	体調を考慮しながら。ご近所まで散歩に出掛けたり、職員と買い物に行っていたり、外出を積極的にしていただくよう努めています。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員が理念に基づいて、入居者様が毎日その人らしく、生きがいを持って楽しく、1日でも長く暮らしていただけるにはどうしたらいいかということを中心に考えています。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族やその他面会のかた、運営推進会議等で、居間を使用していますので、居間の目立つ所に理念を掲げて皆さんに理解していただけるようにしています。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	自治会行事には積極的に参加したり、ホームの前を通られる人には積極的にあいさつをするようにしています。	○
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内の清掃・行事・神事等にできるだけ参加するように努めています。回覧板は利用者と一緒に持っていくようにしています。	○
			ご近所の方がまだ気軽に寄っていただけるようにはないので、ホームでの行事等の参加を呼びかけていきたいです。
			防災訓練にも積極的に参加していきたいです。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	ご近所の方の家族構成をまだ把握していないところもあり、まだどこまで入り込んでいいのかわからないところがあります。	○	地域の高齢者の特に、独居の方に気軽に寄っていただいて、悩みや困っていることを相談していただけるような、少しでも役立つような雰囲気を作りたいです。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価されたことを率直に受け止めて、改善が必要なことは話し合い改善しています。	○	その時だけの改善にならないように、職員全員が把握して、積極的に意見を出して、取り組んでいきたいです。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	出席された方の意見を聞き入れて、改善が必要な意見は、謙虚に受け止めて改善しています。	○	ホーム内で当たり前に行っていることも、外部からの指摘や意見で改善の糸口ができるので、積極的に意見や指摘を聞いていきたいです。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議だけになりがちで、市町村担当者の方ともう少し行き来できる機会を作りたいです。	○	認知症患者をかかえて見える家族の悩みを受け入れられる窓口的な存在になれるよう、日ごろからコミュニケーションを大切にしていきたいです。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修・講演会等にできるだけ参加できるようにしています。	○	職員全員が制度を理解し、必要な方には制度を活用していただけるように支援していきたいです。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修や講演があれば積極的に参加して、防止に努めている。	○	新聞やテレビでの情報等も参考にしながら、なぜ虐待が起こるのかを職員全員がミーティング等で取り上げて考えていき、虐待防止に努めていきたいです。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>利用者・家族の疑問や不安は納得がいくまで説明して、理解していただくようにしています。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者が自分の意見や不満を自由に職員や家族に伝え易い雰囲気作りに努めています。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>健康状態や金銭管理等については家族にその都度報告しています。電話連絡・面会時</p>	○
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>その都度謙虚に受け入れて、管理者や職員に報告して、みんな考えて、運営に反映しています。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ミーティングはもちろん日常の中で提案や意見を聞いて反映しています。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>状況の変化・要望等に柔軟に対応できるように、勤務時間の調整等をおこなっています。</p>	

岐阜県. グループホーム 中野方めぐみ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は最小限にして、異動等がある場合は、刺激を与えないように自然になれていただけるように、細心の注意を払い、配慮しています。		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修には積極的に参加して、段階に応じて育成に努め、それぞれが自発的に勉強して、情報の共有をして取り組んでいます。		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホームの支部会への参加、研修会等に積極的に参加して、他ホームからの施激や意見を参考にして向上に努めています。	○	他施設の訪問等をもう少し取り入れて、良いところは参考にしていきたいです。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	ストレスを一人でかかえ込まないように、どんなことでも相談できるように取り組んでいます。		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	勤務状況の把握、職員個々と面談しながら、誰もが向上心を持って働けるように努めています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人自身の話し易い場所で、話を良く聞く機会をつくり、じっくり向き合うようにしています。	○	不安や困った時、素早く察知して、早く不安等を取り除いて、信頼関係を築くようにしていきたいです。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	不安や求めていることを話安い雰囲気を作るように対応しています。(面会時・電話等)	○	初期に家族とじっくり話し合い、不安や求めていることを十分に理解して信頼関係を築くようにしていきたいです。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	健康診断等やサマリーにより、まず必要としていることを示して対応しています。	○	必要に応じた的確な、他サービスの利用もできるように取り組んでいきたいです。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所前の本人の生活を本人の思いや希望、家族の思いを良く聞き考慮しながら、安心してサービスが利用できるようにしています。	○	本人及び家族が安心して新しい生活に馴染めるように、他の利用者との関係がうまくいくように間に職員が入り、雰囲気に馴染めるように工夫していきたいです。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生活の中で人生の先輩であるという尊厳をもち、喜怒哀楽をいつも共にして、職員も人生の先輩に学びながら、お互い支えあう関係を築いています。	○	生活の中で、多くのコミュニケーションを取り、喜怒哀楽をいつも一緒に分かち合い、利用者にとって、職員にとって、なくてはならない関係を築いていきたいです。

岐阜県. グループホーム 中野方めぐみ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人の小さな変化も必ず電話連絡するか、面会に来ていただき、家族・職員で本人を支えていくように努めています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人・家族の気持や思いを聞き、関係を理解して、ホームがお互いのクッションのような役割になり、良い関係を築けるように支援しています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の気持ちを大切にして、馴染みの関係を維持できるように実現に向けて支援しています。	○	馴染みの人や友人等の面会や外出は歓迎して支援させていただいています。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	共有の時間（食事・レクリエーション・外出等）には利用者同士がコミュニケーションを多くとれるように努めています。	○	些細なトラブルも職員が仲裁に入り、お互いが嫌な思いをしないようにフォローしています。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	利用者・家族が必要としている限り、断ち切らないように、関係を大切にしています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	できる限り本人の意志を理解して希望や意向に沿えるように努めています。	○	少心の心身の変化を見逃さないように、利用者が気持ちを伝え易い雰囲気作り、声かけをして、自分らしさを出せるように努めていきたいです。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に本人や家族からくわしく今までの生活やサービスの利用等を聞いて、利用者が今までと変わりなく生活できるように努めています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	バイタルテック・職員日誌・夜間記録・業務終了報告書・申し送りノートで、全職員が把握するように努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・家族・その他の関係者と話し合いながら、意見やアイデアを出しながら、介護計画を立てるように努めています。	○	見直しが家族の意見を取り込まれることが少ないので、もっと家族と家族と話し合う機会を設けて、計画を立てていきたいです。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に応じて見直しをしており、対応できない大きな変化が生じた時は、その都度現状にあった計画を作成しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りノート・夜間記録・職員日誌等で情報を共有しています。	○	個別のチェックシートの作成も必要に応じて作成しています。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の要望や状況に応じて柔軟に支援しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	本人の希望や必要に応じて、地域のイベントの見学やボランティアの受け入れをして支援しています。	○	まだまだ地域との協働が少ないように思われますので、これから協力しながら支援していきたいと思えます。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要があれば利用しています。待機名簿に登録しています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	2ヶ月に1回の運営推進会議への出席をお願いしています。		

岐阜県 グループホーム 中野方めぐみ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間に1回往診に来ていただいています。体調の変化があれば、その都度状況を連絡して支持をいただいています。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけの精神医に電話するか、本人を受診して状態を診て頂き、相談しながら、継続的に診断や治療を受けられるように支援しています。		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員に相談したり、かかりつけ医の看護師に相談して主治医との連携を密にしています。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時、利用者が安心して過ごせるように、職員が毎日面会に行き、洗濯・物流補給等をし、状況を医療機関と連携を密に取りながら、早期退院に向けて努めています。	○	医療関係者からの情報を全職員が把握して、利用者の不安・家族の不安を取り除き、早期退院に努めていきたいです。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期は基本的に病院での医療対応とし	○	実際には終末ケアに近い状態での支援であるケースもある
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化については、研修や勉強しており、支援に取り組んでいますが、終末ケアについては医療機関での対応を基本としています。	○	重度化された利用者に対しては更なる医療機関との連携を強化して、職員との統一した支援形態で細やかな支援をしています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人や家族とは事前に良く話し合い、他施設への見学をしていただき、本人に関わるケア関係者で話し合いダメージを防いでいます。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりにあった言葉かけをするように、職員は十分に注意をして対応しており、記録等の扱いにも注意しています。	○	不適切な言葉使いのときは、別の場所でその都度お互い注意しています。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人ができるだけ決定できるように、働きかけたり、力に合わせた説明で納得していただけるように支援しています。		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人のペースに合わせて、介護側の都合にならないように、希望にそって支援しています。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	身だしなみやおしゃれは本人の希望を優先して、美容院は本人の望むところにいけるように努めています。		

岐阜県 グループホーム 中野方めぐみ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	<p>季節料理や郷土料理は特に喜ばれますので、昔話をしながら作っていただいています。</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	<p>排泄のリズムを維持できるように、水分補給・食物繊維・果物・野菜を豊富に取っていただくように心掛けています。</p>
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	<p>無理のない入浴をしていただくように、本人の意志は尊重しながら、気持ちよく入浴していただくようにしています。</p>
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	○	<p>昼寝されない方は、野外へ散歩に行ったり、ゲームをしたり、家事のお手伝いをさせていただいたりして、適度の運動をしていただき、良い眠りができるように支援しています。</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	<p>見守りながら、外で畑仕事や草取りをしたい方は、自由にいただき、散歩は天気によければ体調を考慮しながら、毎日行きます。雨の日のレクリエーションの充実を図りたいです。</p>

岐阜県 グループホーム 中野方めぐみ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は家族が管理してみえますので、基本的には所持している方は見えませんが、一部の管理能力のある方は持ってみえる方もいます。ホーム側と利用者での取り決めは困難な事例が多いです。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣への散歩、ドライブ・畑や花の手入れ・庭でのパターゴルフ・買い物への同伴をしていただいています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	法事や兄弟会やその他の行事への参加、花見や夏祭り等へ出かける機会をつくり、支援しています。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	できるだけ自由に電話のやり取りはしていただいております。希望があれば手紙や年賀状等も書いていただいています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気軽に訪問していただいて、次回もまた来ていただけるように、閉鎖的にならないように、雰囲気良く出迎えしています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員全員が身体拘束を十分理解して、拘束のないケアに取り組んでいます。		

岐阜県. グループホーム 中野方めぐみ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p> <p>全職員が鍵をかけないケアに取り組み、普通の家庭のように鍵はかけずに、チャイムセンサー等の監視もしていません。</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p> <p>全職員が利用者の居場所を把握しており、外へ行かれるときは付き添い、夜間も巡回で安全確認をして配慮しています。</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p> <p>一人ひとりの状態に応じて、危険が生じる可能性がある場合に限り、なくすようにしています。 (はさみ・刃物等)</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p> <p>ミーティング等での話し合い・書籍等で知識を学び、事故のないように、一人ひとりの状態に応じた防止に努めています。</p>	○	<p>万一、事故等が生じた場合は、事故報告書・ヒヤリハットのノートを記入して、全職員が把握して、原因究明をしっかりと行い、防止に対する話し合いをしています。</p>
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p> <p>緊急時の対応マニュアルを作成して、全職員が対応できるように、わかり易い場所に掲示してあります。</p>	○	<p>緊急時や事故等の対応については、ミーティング等（書面上）では行っていますが、対応の訓練や応急手当等は積極的に行っていきたいです。</p>
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> <p>地域の方の協力を得られるように、働きかけています。</p>	○	<p>日ごろより地域の人たちの協力を得て、積極的に訓練を行い、安全に利用者を避難できるように、日ごろから働きかけていきたいです。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	その都度電話連絡・面会時に状態をお話して、起こりうるリスクについて説明し、ホーム側の対応についても理解していただけるようにしています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	職員が小さな変化も見逃さず、気づいた時は主治医等に相談して敏速に対応しています。家族へも連絡して対応しています。	○	職員同士の連帯をしっかりと持ち、主治医との連携をつくり、敏速に対応できるよう心がけていきたいです。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員が一人ひとりの薬の内容を理解して、体調の変化には特に気を使い、症状によっては中止したり、調整あいています。	○	排便の薬については、一人ひとりの排便リズムを考慮しながら服用していただき、眠剤に対しても、良眠の場合は服用していただかない日もあります。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食物繊維を多く取り入れて、水分も十分に摂っていただくようにして、体を動かす働きかけも行っています。職員は便秘の及ぼす影響を理解して対応しています。	○	自然排便ができるようにしていますが、何日間排便のない場合は、排便の薬を服用していただいています。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	最低2回は歯磨きをしていただくように働きかけ、自立でできない方は、口腔ケアで対応しています。	○	口腔ケアをしっかりやって、誤嚥性肺炎等の予防をしていきたいです。利用者一人ひとりにあったケアを職員で話し合い勉強していきたいです。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	塩分制限の方がみえますので、塩の使い方は特に気を使い、他の方にも良いと思われまますので、薄味にしています。ご飯・おかずのお量も一人ひとりの体調・今までの習慣に応じて対応しています。水分は十分摂っていただくように声かけしています。	○	水分量がどうしても少なくなりがちなので、水分補給がしっかりできるようにいつでも飲めるように工夫していきたいです。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	手洗い・うがいはもちろん、ビニール手袋の使用、食器の熱湯消毒・トイレの塩素消毒等感染症の予防に対応している。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具はその都度消毒し、生野菜の湯通し、生物の加熱、買い物でも新鮮で安全な食材を購入するようにして、できるだけ買い置きしないようにしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	外周りには庭木や花を植え、玄関の前にもたくさんの花を植え、玄関の中にも花を生け、普通の家庭の雰囲気の花で会話ができるような親しみ易く、出入りできるようにしています。	○	ベンチ等を置いて、井戸端会議ができるような雰囲気を作っていきたいです。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	夏はよしずで光をさえぎり、季節の花屋や置物で季節感を感じていただけるように配慮して、居心地良く過ごしていただくようにしています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファーや食事のテーブルで一人ひとりに合った場所で、気の合った人同士、会話等を楽しんでいただいています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	○	消臭剤の使用等で自室・トイレ・玄関等は臭いがないように配慮しています。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	○	お風呂の手すりをもう少し増やして、安全に入浴していただけるようにしていきたいです。
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者の方一人ひとりが共に豊かに毎日をお送っていただけるように、一人ひとりに合った支援に取り組んでいます。ホームの目の前には水田と笠置山があり、春夏秋冬をいつも感じられる自然の環境の中で、利用者の方がのびのびと自由に畑で野菜作りや花作り・散歩等を楽しんでいただいています。